



梅雨明けの夏空

「入道雲」がむくむくと・・

空高くわき上がるその様が

大男の立ちはだかる姿に似ているところから名づけられたとか

いよいよ 夏本番！

楽しく充実した夏休みに！

梅雨明けとともに、長雨が嘘のように晴れ渡った青空。いよいよ夏本番！子どもたちにとって楽しみな夏休みを迎えます。

夏休みは、正式には「夏季休業」といい、法律で定められた休みです。しかし、その期間は各教育委員会が決めることになっているため、地域によって若干の差があります。例えば、北海道では、夏の時季が短いため、7月下旬から8月お盆明けくらいまでといった具合です。山梨県内でも富士北麓や北杜市で、それに似たような状況があります。「え～、だったら北海道の子はかわいそう。」という子どもたちの声が聞こえてきそうですが、その分、冬休みが長くなるので、年間を通じた休業日は全国ほぼ同じくらいの数になります。

さて、1学期を振り返ってみると、4月からあっという間の4か月でした。毎日の学習はもちろんのこと、学年行事や児童会行事、友だちや先生とのふれあいを通して、どの子ども大きく成長した1学期だったと

思います。とりわけ、1年生にとっては、「初めての学校」に戸惑いながらも、72日間を無事に送れたことは、小学校のスタートにあたり大きな財産になったと言えるでしょう。そして、北小のすべての子どもたちが、1つまた1つと力を付けられた1学期であったと感じています。どの子ども本当によく頑張りました。🌸

さあ、いよいよ夏休みが始まります。子どもたちの頭の中は、きっとやりたいことだらけでしょう。長～い休みだからこそできるたくさんの経験をして、一段とたくましくなった顔を2学期に見せてほしいと思います。ダラダラとした時間なんてもったいない！「やりたいことリスト」を作って、たくさんチャレンジしてほしいと思います。そして、規則正しい生活の中で体調管理をしっかりとし、交通事故や事件に巻き込まれないよう過ごしてほしいと思います。もちろん、コロナ対策も忘れずに！

では、2学期に元気な(^_^)(^_^)で会いましょう。

思い出いっぱい 修学旅行

7月14日～16日、6年生が修学旅行へ出かけました。「さらなる高みへ！64人でつくる一生の思い出」のテーマの下、いざ鎌倉！いざ箱根へ！

5月の延期措置、加えて方面の変更と、新型コロナウイルスの動向を注視しながらの実施となりましたが、無事に3日間を終えられたことが、まずは何よりの収穫です。昨年度の混迷を考えると、実施できたことが喜びであり、友だちと過ごした3日間は、かけがえのない大切な思い出になったことと思います。

1日目は、江ノ島と鎌倉において「海洋生物」と「歴史(鎌倉時代)」について学びました。2日目は、箱根において「火山・地形」と「歴史(江戸時代)」を、そして、3日目は、富士北麓において「自然(樹海)」と「力学(あえてハイランドを力学と...)」を学びました。宿舎を含め、行く先々での活動を思う存分楽しむ姿が見られました。一人ひとりが**北小の児童である自覚**を持ち、自分の役割をしっかりと果たしながら、「協力」「団結」「思いやり」「絆」「葛藤」「譲歩」「自律」・・・と、数え切れない多くのことを学んだことと思います。これらを今後の生活に生かし、**さらなる高み**を目指してほしいです。

このコロナ禍、実施にあたって支えてくださった保護者の皆様、関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。



思い出は
いつまでも
心の中に

～かわいい訪問者～

6月下旬、2年生が生活科の学習で校長室調べに来てくれました。食い入るように室内を見回す子、「これは何ですか？」と好奇心旺盛に質問を繰り返す子など、子どもたちの興味関心の高さを感じました。

学習の目的は、「学校のことを1年生にわかりやすく伝えること」です。明確な目的があると、子どもたちは見通しを持ちます。そして、1年生に伝えるという先輩としての気概を持つことで、一層深みを増していきます。

調べ学習の後は、発表内容の熟考と発表練習を経て、いざ本番、「伝える」学習へ。当日は、2年生と1年生がペア(グループ)を組み、各教室の説明を行いました。最後には、2年生が1年生のカードにかわいいスタンプを押してあげて、和やかなうちに学習が進められました。



～修学旅行のひとコマ～

